

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-118558

(43)Date of publication of application : 25.04.2000

(51)Int.Cl.

B65D 75/36

(21)Application number : 10-294967 (71)Applicant : FUJI SEAL INC

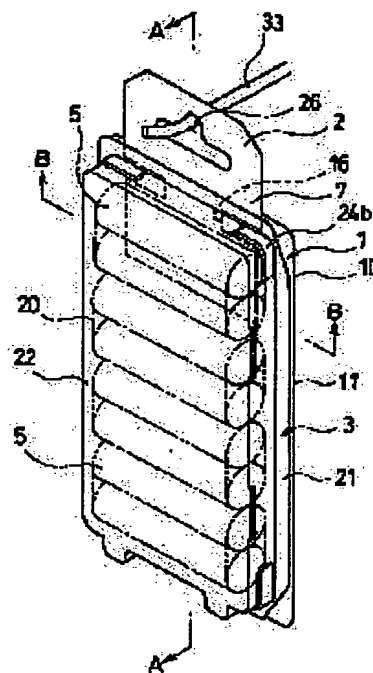
(22)Date of filing : 16.10.1998 (72)Inventor : HASHIMOTO TADASHI

(54) PACKAGE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a package out of which commodities can be taken easily and simply, which is usable as a container after unsealing and, further, which is so designed that reutilization or waste disposal can be made easily.

SOLUTION: A package has a container main body 3 consisting of a container part 10 and a lid part 20, which is formed with a plastic sheet 1, and objects 5 to be packaged, such as commodities, are stored in the container main body 3 by folding the container part 10 and the lid part 20. The package also has a hanging member 7 as an additional member, which is provided to the container main body 3. In this case, a locking means to which the hanging member 7 is locked is provided to the container main body 3 in such a manner that the hanging member 7 can be removed from the container main body 3 when the container part 10 and the lid part 20 are opened.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

2000-281127

(43)公開日 平成12年4月25日(2000.4.25)

テマコト*(参考)
3E067

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 7 頁)

(22) 出願日 平成10年10月16日 (1998. 10. 16)

(71)出願人 000238005
株式会社フジシール
大阪府大阪市鶴見区今津北5丁目3番18号

(72)発明者 橋本 忠
大阪市鶴見区今津北5丁目3-16 株式会
社フジ・アルファ内

(74)代理人 100074332
弁理士 藤本 昇 (外1名)

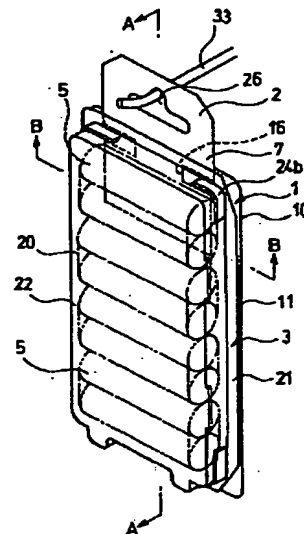
Fターム(参考) 3E067 AA22 AB01 AB32 AB40 AB79
AB81 AC03 AC11 BA02A
BA05A BB14A BB15A BB16A
BB25A BC06A CA11 EA17
EB17 EB27 EC08 EE03 EE16
FA01 FC01 GD03

(54) 【発明の名称】 包装体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、商品の取り出しが容易且つ簡単に行え、しかも、開封後に容器として使用することができ、再利用や廃棄の処理が容易に行えるようにすることを課題とする。

【解決手段】 本発明に係る包装体は、プラスチックシート1により、容器部10と蓋部20とを備えた容器本体3が形成され、容器部10と蓋部20とを折り畳むことにより商品等の被包装物5が収納され、前記容器本体3には、別体の吊り下げ体7が設けられた包装体であって、前記容器本体3には、容器部10と蓋部20とを開いた際に前記吊り下げ体7が取り外し可能なように、該吊り下げ体7に係止される係止手段が設けられていることにある。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 プラスチックシート(1)により、容器部(10)と蓋部(20)とを備えた容器本体(3)が形成され、容器部(10)と蓋部(20)とを折り畳むことにより商品等の被包装物(5)が収納され、前記容器本体(3)には、別体の吊り下げ体(7)が設けられた包装体であって、前記容器本体(3)には、容器部(10)と蓋部(20)とを開いた際に前記吊り下げ体(7)が取り外し可能なように、該吊り下げ体(7)が係止される係止手段が設けられていることを特徴とする包装体。

【請求項 2】 前記容器部(10)と蓋部(20)とが折曲線(14)を介して連設され、容器部(10)には、前記蓋部(20)が嵌合される突設部(12)が形成され、該突設部(12)には、前記吊り下げ体(7)が嵌合される係止間隙(16)が形成されている請求項 1 に記載の包装体。

【請求項 3】 プラスチックシート(1)により、容器部(10)と補強部(35)と蓋部(20)とを順に備えた容器本体(3)が形成され、該補強部(35)は、容器部(10)と折曲線(37)を介して連設され、かつ、蓋部(30)と折曲線(38)を介して連設され、容器部(10)と補強部(35)と蓋部(20)とを折り畳むことにより商品等の被包装物(5)が収納され、前記容器本体(3)には、別体の吊り下げ体(7)が設けられた包装体であって、前記容器本体(3)には、容器部(10)と補強部(35)とを開いた際に前記吊り下げ体(7)が取り外し可能なように、該吊り下げ体(7)が係止される係止手段が設けられていることを特徴とする包装体。

【請求項 4】 前記補強部(35)には、前記容器部(10)が嵌合される突設部(43)が形成され、該突設部(43)には、前記吊り下げ体(7)が嵌合される係止間隙(16)が形成されている請求項 3 に記載の包装体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、包装体に関するものであり、より詳しくはプラスチックシートからなる容器部と蓋部とを折り畳むことにより、文具、化粧品、電池、日用品、ビデオテープ、食品等の種々の被包装物を包装して収納するための包装体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来より、この種の包装体としては、店頭等で吊り下げた状態で陳列できる利便性を有することから種々のものが提案され、公知である。該包装体は、電池等の商品が収納されるプラスチックシートからなる成形品に、吊り下げ用孔を有する台紙がホットメルト接着剤等で接着されたもの(プリスターバック)である。そして、商品を取り出す際には、台紙を成形品から剥が

している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記包装体にあつては、台紙が成形品から完全に剥がれ難い問題がある。また、商品の取り出し後は、材質の相違する台紙が成形品に付着して残存するため、成形品(プラスチック)と紙を分別廃棄する際の処理が困難であつた。更に、成形品は容器として再利用できるものではなかつた。

10 【0004】 そこで、本発明はこのような問題を解決すべくなされたものであり、商品の取り出しが容易且つ簡単に行え、しかも、開封後に容器として使用することができ、再利用や廃棄の処理が容易に行える包装体を提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記課題を解決すべくなされたものであり、本発明に係る包装体は、プラスチックシート 1 により、容器部 10 と蓋部 20 とを備えた容器本体 3 が形成され、容器部 10 と蓋部 20 とを折り畳むことにより商品等の被包装物 5 が収納され、前記容器本体 3 には、別体の吊り下げ体 7 が設けられた包装体であって、前記容器本体 3 には、容器部 10 と蓋部 20 とを開いた際に前記吊り下げ体 7 が取り外し可能なように、該吊り下げ体 7 が係止される係止手段が設けられていることにある。

30 【0006】 そして、吊り下げ体 7 は容器部 10 に取り外し可能に係止しているので、被包装物を取り出す際に、吊り下げ体 7 をわざわざ剥離する手間が不用となり、また、吊り下げ体 7 が容器本体 3 に残存するおそれがない。従つて、商品の取り出しが容易且つ簡単に、容器本体 3 の再利用や廃棄する場合の処理も容易に行える。

【0007】 また、前記容器部 10 と蓋部 20 とが折曲線 14 を介して連設され、容器部 10 には、前記蓋部 20 が嵌合される突設部 12 が形成され、該突設部 12 には、前記吊り下げ体 7 が嵌合される係止間隙 16 が形成されていることにある。

【0008】 また、プラスチックシート 1 により、容器部 10 と補強部 35 と蓋部 20 とを順に備えた容器本体 3 が形成され、該補強部 35 は、容器部 10 と折曲線 37 を介して連設され、かつ、蓋部 30 と折曲線 38 を介して連設され、容器部 10 と補強部 35 と蓋部 20 とを折り畳むことにより商品等の被包装物 5 が収納され、前記容器本体 3 には、別体の吊り下げ体 7 が設けられた包装体であって、前記容器本体 3 には、容器部 10 と補強部 35 とを開いた際に前記吊り下げ体 7 が取り外し可能なように、該吊り下げ体 7 が係止される係止手段が設けられていることにある。

【0009】 しかも、前記補強部 35 には、前記容器部 10 が嵌合される突設部 43 が形成され、該突設部 43

には、前記吊り下げ体 7 が嵌合される係止間隙 16 が形成されているのが好ましい。

【0010】

【発明の実施の形態】＜第一実施形態＞以下、本発明の第一実施の形態について説明する。図 1～図 4 は本発明の第一実施の形態を示し、本実施の形態の包装体は、被包装物としての乾電池 5 が複数又は単数個収容される容器本体 3 と、該容器本体 3 に着脱自在に取り付けられる吊り下げ体 7 とからなる。

【0011】前記容器本体 3 は、プラスチックシート 1 により成形されており、その成形手段としては、真空成形や圧空成形することにより成形できるものである。ここでプラスチックシート 1 として厚み 0.3mm のポリエステル（ポリエチレンテレフタレート）からなり硬質で熱成形可能な透明な単層からなるシートを用いているが、その他ポリプロピレン、ポ塩化ビニル、ポリスチレン等からなり、硬質又は半硬質で透明又は半透明な単層及び複層からなる厚み 0.1 乃至 2.0mm 程度のシート等も使用し得る。

【0012】前記容器本体 3 は、前記乾電池 5 が収容される容器部 10 と、該容器部 10 に折曲線 14 を介して連設された蓋部 20 とから二つ折りに構成（2 枚構造）されている。尚、折曲線 14 としてミシン目を採用しているが、その他凹溝等の折目等も採用することも可能である。

【0013】前記容器部 10 には、その周縁に耳部 11 を残し表面（容器本体 3 を吊り下げて陳列した場合の前面）側に略矩形状の突条部（突設部）12 が突出形成されている。該突条部 12 は上下方向に平行な両側突設部 12a と横方向に平行な上下側突設部 12b、12c が連続的に形成され、該突条部 12 により形成される収納凹部 15 内に、前記乾電池 5 が収容されるようになって

いる。

【0014】前記突条部 12 の上側突設部 12b の中央には、該上側突設部 12b の不連続部となる係止間隙 16 が形成されている。尚、上側突設部 12b により係止手段が構成されている。

【0015】前記乾電池 5 は、2 個が一組としてジュリンク包装されており、例えば 4 組の乾電池 5 が収容可能となっている。尚、17 は各組の乾電池 5 を位置決めするための位置決め凸条で、平行な状態で両側突設部 12a、12a に接続されている。

【0016】前記上側突設部 12b の係止間隙 16 には、吊り下げ体 7 が取り外し自在に嵌合されている。吊り下げ体 7 は、例えば紙シート（台紙）又は合成樹脂シートからなり、係止孔 26 が形成され、且つ、片面又は両面に印刷が施されたラベルの機能を有する吊り下げ体本体部 28 と、該吊り下げ体本体部 28 から下方に延設された嵌合部 30 と、該嵌合部 30 の下方に延設された係止部 31 とからなる。

【0017】前記嵌合部 30 の長さ L1 は、図 2 に示す如く前記係止間隙 16 よりも若干小さく設定されている。また、係止部 31 の長さ L2 は、前記係止間隙 16 の大きさよりも大きく且つ両側突設部 12a、12a 間よりも小さく設定されている。従って、係止部 31 は、前記収納凹部 15 内に収納されると共に、前記上側突設部 12b に下方から係合し離脱しないようになっている。

【0018】前記蓋部 20 には、その周辺に耳部 21 を残して表面側に突出成形され、蓋部 20 を折曲線 14 に沿って容器部 10 側に折畳んだ際に、前記容器部 10 の収納凹部 15 を覆うための閉塞部 22 が形成されている。ここで閉塞部 22 は、蓋部 20 を閉じた際に突条部 12 に嵌着すべく構成されている。また、閉塞部 22 の角部には、前記容器部 10 の突条部 12 に突出形成された被係合部 24a に嵌合される係合凹部 24b が形成されている。

【0019】上記構成からなる包装体は、先ず、吊り下げ体 7 の嵌合部 30 を容器部 10 の上部に嵌入すると共に、2 個が一組として包装された乾電池 5 を収容する。

【0020】そして、蓋部 20 を折曲線 14 に沿って折り畳み、容器部 10 の突条部 12 に閉塞部 22 を嵌着させることで乾電池 5 を包装する。尚、蓋部 20 は被係合部 24a が容器部 10 の係合凹部 24b に嵌合するため、不用意に開放してしまうおそれはない。

【0021】前記包装体においては、前記吊り下げ体 7 に形成された係止孔 26 に、例えば店頭において係止体 33 が挿通されることにより、吊り下げられた状態で陳列することができる。このとき、吊り下げ体 7 の係止部 31 は、上側突設部 12b に下方から係合するため、容器本体が脱落することはない。しかも、吊り下げ体 7 は乾電池 5 により、収納部 15 の底面側に押圧されることとなり、不用意に上部から外れるおそれもない。

【0022】また、乾電池 5 を使用する場合には、突出した蓋部 20 の耳部 21 を摘んで、蓋部 20 を開放することができる。乾電池は 4 組収容されていることから、例えば一組（2 本）の乾電池を使用する場合には、他の 2 組の乾電池は容器本体 3 に収容しておくことができる。即ち、蓋部 20 を開放して開封した際に、吊り下げ体 7 は容器本体 3 から取り外して廃棄でき、吊り下げ体 7 の除去された容器本体 3 に乾電池 5 を収容しておくことが可能となり、嵩張らずに保管できるため、容器本体 3 を専用の収容ケースとして使用でき、非常に便利である。

【0023】＜第二実施形態＞図 5～図 8 は本発明の第二実施の形態を示す。同実施の形態は、容器本体 3 を三つ折りに構成（三枚構造）したものである。具体的には、前記容器部 10 及び蓋部 30 との間に補強部 35 が設けられている。該補強部 35 は、容器部 10 と折曲線 37 を介して連設され、かつ、蓋部 30 と折曲線 38 を

介して連設されている。尚、容器部10は、図5及び図7に示す展開した状態で裏側方向を向いている。また、前記乾電池5は、4個が一組としてシュリンク包装されており、2組の乾電池5が収容可能となっている。

【0024】前記補強部35の表面には、左右の両側突設部40aと、両側突設部40a、40aに連結される上下側突設部40b、40cが形成されている。ここで、両側突設部40a及び上下側突設部40b、40cとにより矩形状の突設部43が形成されている。また、上側突設部40bには、前記同様に係止間隙16が形成され、該上側突設部40bが、吊り下げ体7を係止する係止手段となる。

【0025】前記容器部10には、折曲線37を介して補強部35側に折り畳まれた際に、前方に凸状となる矩形状の嵌入部41が形成され、該嵌入部41が前記補強部35の凸部43に嵌合される。

【0026】そして、補強部35の上側突設部40bに吊り下げ体7を嵌合し、その後に容器部10を補強部35側に折り畳む(図8(a)参照)。更に、容器部10に乾電池5を収容した後に、前記蓋部20を乾電池5が収容された容器部10側に折り畳む。前記蓋部30が補強部35側に折り畳まれた際には、蓋部30の閉塞部22が嵌入部41に外嵌され、乾電池5が包装されることとなる(図8(b)参照)。

【0027】上記構成からなる第二実施の形態の包装体は、補強部35を設けたことにより、図5に示す仮想線の如く補強部35に印刷の施されたラベルシート38を添付したり、補強部35が平坦ゆえにその両面に印刷等することもできる等の利点を有する。

【0028】尚、本発明は上記実施の形態に限定されるものではなく、例えば、容器本体3は、二枚構造又は三枚構造以外に四枚構造以上であっても良い。しかも、被包装物も乾電池5に限定されるものではない。

【0029】

【発明の効果】以上のように、本発明に係る包装体は、

以上のように構成されていることから、従来のように開封後に吊り下げ体が容器本体に付着することなく、収容されている被包装物を容易且つ簡単に取り出すことが可能となる。しかも、例えば、被包装物が複数個収容されており、その一部を使用すべく取り出した際に、残りの被包装物を収容する容器として使用することが可能であり、非常に便利である。更に、不用になった容器は、吊り下げ体が完全に分離されているため、再利用処理が簡単に行える利点もある。

10 【0030】また、容器本体には、容器部と補強部とを開いた際に前記吊り下げ体を取り外し可能なように、該吊り下げ体が係止される係止手段が設けられているので、補強部により容器本体の強度が得られると共に、補強部と容器部との間に取扱説明書等の添付シートを介在したり、また、補強部への印刷等により説明文や注意書等が表示したりできるため、表示面積を大きくできる利点がある。

【図面の簡単な説明】

20 【図1】本発明の第一実施の形態の包装体を示す全体斜視図。

【図2】同包装体の展開状態を示す平面図。

【図3】同図1のA-A線矢視の断面図。

【図4】同図1のB-B線矢視の断面図。

【図5】本発明の第二実施の形態の包装体の展開状態を示す平面図。

【図6】同包装体の図3に対応する断面図。

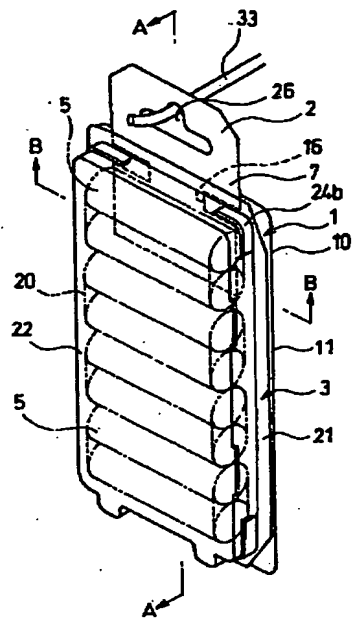
【図7】同包装体を展開した状態の断面図。

【図8】(a)は蓋部を容器部側に折り畳む状態を示す断面図、(b)は蓋部を容器部側に折り畳んだ状態の断面図。

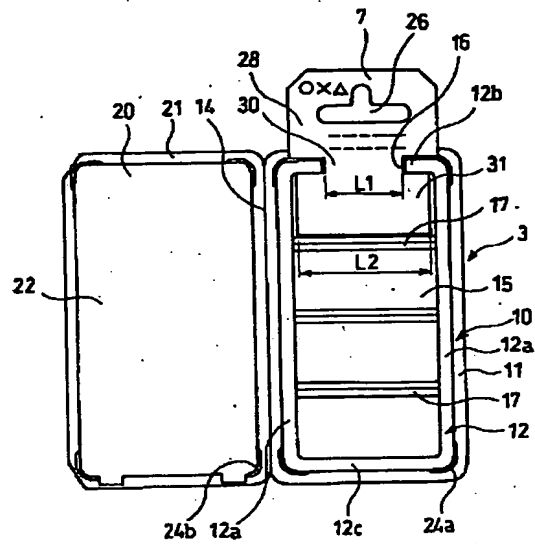
【符号の説明】

1…プラスチックシート、3…容器本体、5…乾電池(被包装物)、7…吊り下げ体、10…容器部、12…突設部、14…折曲線、16…係止間隙、20…蓋部、35…補強部、37…折曲線、38…折曲線

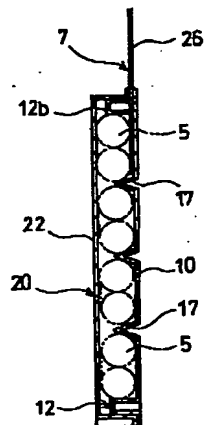
【図1】



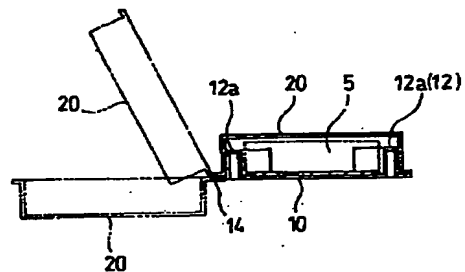
【図2】



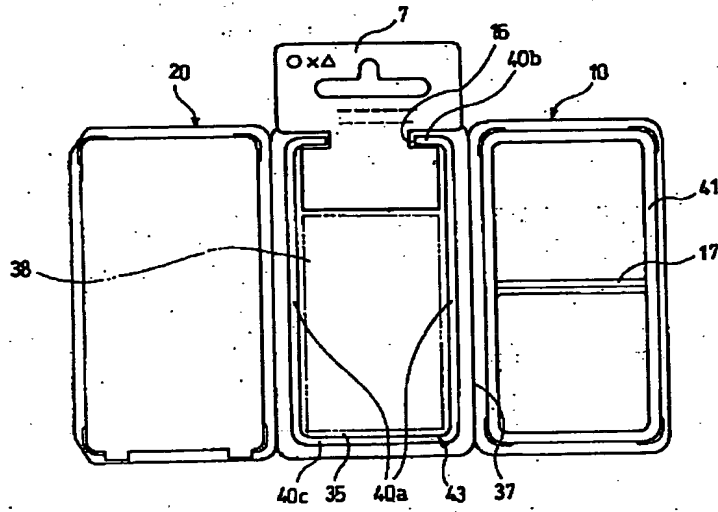
【図3】



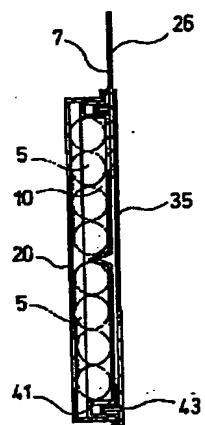
【図4】



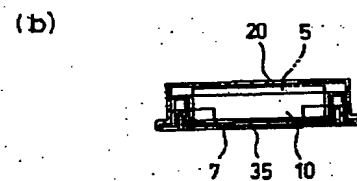
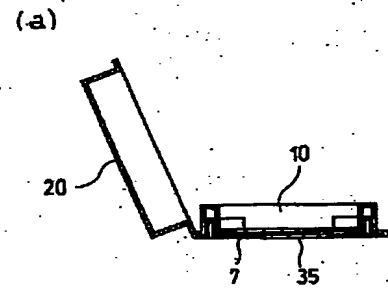
【図 5】



【図 6】



【図 8】



【図7】

